

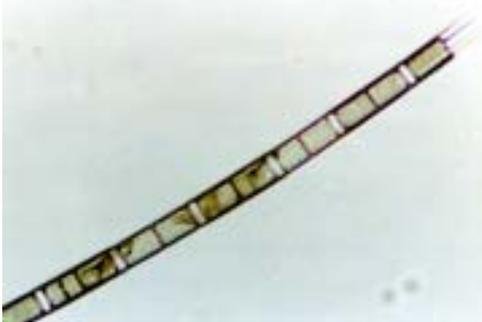
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第21報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年8月19日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1～3本有する。

動物プランクトン第1優占種



Conochilus unicornis
(ツノテマリワムシ)
輪虫類

数個体から25個体で円球形の群体を形成する。腹触手は1本で、頭盤の中央に立っているのが特徴である。

コメント

植物プランクトンは、メロシラ グラヌラータやオシラトリア カワムラエが見られた。オシラトリア カワムラエは大型のアオコ形成種で、南湖の沿岸水域で既にアオコとして発生している。動物プランクトンは、個体数は少なかったが、テマリワムシ、ミゾアワムシをはじめとしてヨツウデワムシ、カメノコワムシ、ヤマトヒゲナガケンミジンコ等の種類が多く見られた。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Conochilus unicornis</i>	25

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Pompholyx sulcata</i>	20

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

(2) 植物プランクトン

平成14年8月19日

第21報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	10		
(藍) <i>Microcystis viridis</i> *	1		
(藍) <i>Oscillatoria Kawamurae</i> *	9		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	95		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	40		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(珪) <i>Gomphonema</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	32		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	40		
(緑) <i>Cosmarium</i> sp.	1		
(藍) 藍藻綱	20	5.9	98.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	155	45.9	1.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	23.7	0.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	83	24.6	0.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	338	総体積 (μm^3)	3.29E+07
種 類 数	13		

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。